

西川 六男 議員

コロナの終息のめどが全くたちません。国は「検査能力を拡充し一日20万件の検査体制を作る」「いつでも誰でも希望すればPCR検査を受けられる体制を作る。そのため自治体が医師会等に委託する事ができるようにする」方針です。県も身近な病院で検査を実施し早期発見するため、申請に基づく「発熱外来認定医療機関」を県下にある18カ所（8月5日現在）を増やしたい方針です。市民の命と生活を守る為に、国保中央病院が国や県の方針に基づき認定医療機関に申請する事を、病院を設置する4町で協議するように提案しました。

竹邑 利文 議員

一般質問にて高齢者の方はスマホ・パソコンが無くインターネットを利用できない、やり方も解らない、この様な弱者は「社会変革」「デジタル化」「オンラインで行政手続を完結」等、ICT時代に対応できる様に行政に思いやりの心の政策を求めました。教育行政に関しては1学期の授業日数確保の為、学校行事の精選及び授業計画を見直し更なる効率化を図る指導、また価値観の多様化複雑化する社会の中で誹謗・中傷事案が多発していることから、法とは何か違法行為はなぜ

発生するのか、法教育の重要性を指導するとの答弁を得ました。

吉田 容工 議員

地域振興券発行に賛成しました。6月議会時、町は後ろ向きの姿勢でした。そこで、6月12日の全員協議会で、自粛に協力されている町民に地域振興券を届けて経済振興を図ろうと提案し、全議員の賛同を得ることができました。そして、6月15日町長あて地域振興券発行要請を議会として提出しました。その結果、今議会への地域振興券事業提案になりました。「王寺では一人1万円や町はなんぼや？」というご意見に一人2500円届けることができました。1000円の買い物に500円使えるという制度ですが、全額使いましょう。

植田 昌孝 議員

「精神障害者の交通運賃に関する請願」が衆参両院で採択されたことに伴い、精神障害者にも身体障害者や知的障害者と同じように交通運賃割引制度が適用されるように「各交通事業者への働きかけを強める意見書」を国及び国会に対し提出することに全議員の了承を得ました。また新型コロナウイルス感染症拡大により今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想されるが、これ

に対し議会運営委員会を代表して「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を提出しました。

松本 美也子 議員

①子どもの貧困対策について：子育てや貧困を家庭のみの責任にせず子どものことを第一に考えた適切な支援を早期に講じるための「計画策定」について・実態及び支援対策について ②重層的支援体制整備事業について：複合的な課題への包括的総合的な相談体制の構築のため重層的支援体制整備事業が来年度4月にスタートするにあたり、円滑な実施のための具体的な取組について ③マイタイムライン（私の行動予定）について：台風や豪雨の際に自主的な行動を促し、逃げ遅れ防止のためのマイタイムラインの作成について以上3点、一般質問しました。

藤井 誠人 議員

学童保育について、教室の現状や親の会での意見を聞き、学童保育をさらに充実させる立場で一般質問。①保育スペースの拡大・手洗いの場の設置・インターネット環境の構築について②国が推進する支援事業「要支援児童等対応推進事業」の対応職

員の配置・緊急事態宣言や警報発令時の確実な文書配信の為のアプリの導入支援・保育内容充実するための動画ツールの活用等、コロナ禍等による社会情勢悪化のしわ寄せが子供たちに影響しない環境の整備を強く訴え、「来年度の当初に間に合う提案の検討を始める」と建設的な回答を得ました。

梶木 裕文 議員

一般質問にて①熱中症対策について②本町小中学校の標準服、校則などの在り方について③国民スポーツ大会候補地の誘致についてを質問。学校の標準服、校則の在り方については、生徒の心身の健康に良くないと考えられるきまり（平野小学校の防寒具（ジャンパー等）着用禁止）については見直すべきとの質問に対し、「五校全ての子供達の健康に関する問題に差異があつてはいけない、学校に指示を出し今後認めていく形で検討する」との答弁。国体候補地の誘致については積極的に本町に誘致をして頂きたいと訴えました。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、12月上旬に開催します。

☎ 議会事務局（☎34・2119）

議会だより

令和2年 第3回定例会

発行 田原本町議会	編集 議会編集委員会
-----------	------------

令和2年田原本町議会「第3回定例会」が9月2日から15日まで14日間の日程で開かれました。以前に議会から町長へ要望していただいた地域振興券の配布事業の予算が、令和2年田原本町一般会計補正予算(第5号)で可決されました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○令和元年度田原本町健全化判断比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の健全化判断比率の財政4指標について、実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字で該当せず、また実質公債費比率9・0%（前年度対比1・1ポイント上昇）、将来負担比率79・7%（同2・8ポイント上昇）であり、いずれも早期健全化基準を下回っていることを報告するもの。

○令和元年度田原本町資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の水道事業会計及び下水道事業会計に関わる資金不足は生じておらず、経営健全

化基準を下回っていることを報告するもの。

《可決した議案》

○令和2年度田原本町一般会計補正予算(第5号) (全員賛成)

補正予算額は、億4967万9000円の増額で、主な内容は新型コロナウイルス感染症対応に伴う事業費で、町税事務におけるスマートフォン決済導入に伴うシステム改修、総合窓口のキャッシュレス決済導入に伴う備品購入、自転車駐車場指定管理者への事業継続支援、障害児通所サービス利用料の還付、新生児への臨時特別給付金、妊婦への臨時特別給付金、高齢者のインフルエンザ予防接種の無償化、地域振興券の配布、小・中学校体育館への空調設備の設置、町立図書館の自動貸出機購入など。

○田原本町自転車駐車場条例の一部を改正する条例(全員賛成)

自転車駐車場の管理に関する業務を、業務委託又は指定管理者制度のいずれかの方法で行うことができるようにするため所要の改正を行うもの。

○工業ゾーン周辺道路改良工事 第1工区 請負契約締結について(全員賛成)

十六面地区の神田川西側エリア内の約350m区間の道路改良工事を、契約金額8665万1400円で、安井建設株式会社(田原本町)と、工事請負契約を締結するもの。

○工業ゾーン周辺道路改良工事 第2工区 請負契約締結について(全員賛成)

十六面地区の神田川東側エリア内の約320m区間の道路改良工事を、契約金額8379万3000円で、安井建設株式会社(田原本町)と、工事請負契約を締結するもの。

○田原本町道路路線の認定について(全員賛成)

唐古19号線、唐古20号線の2路線を新たに町道路線に認定するもの。

○財産の取得について(賛成多数)

避難所で使用するワンタッチ式パーテーションの取得を、取得金額1639万円で、大和中央製薬株式会社(檀原市)より取得するもの。

○財産の取得について(全員賛成)

GIGAスクール構想に伴うタブレットの取得を、取得金額

1億2581万4832円で、キステム株式会社奈良本社(奈良市)より取得するもの。

○田原本町土地開発公社定款の変更について(賛成多数)

緊急を要する事項又は軽微な事項については、書面決議を可能とするため所要の変更を行うもの。

《採択とした意見書》

第3回定例会で採択とした意見書は以下のとおりで、関係団体へ提出しました。

意見書	提出議員
請願採択を踏まえ「各交通事業者への働きかけを強める」意見書(全員賛成)	植田昌孝議員
防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書(全員賛成)	古立憲昭議員
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(賛成多数)	議会運営委員会

○令和元年度田原本町各会計決算の認定について(賛成多数)

地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付すもの。

委員7名で構成される決算審査特別委員会を設置し、各会計決算について審査を行いました。(決算の詳細は広報たわらもと10月号に掲載されています。)

○令和2年度田原本町一般会計補正予算(第6号)(全員賛成)

補正予算額は372万2000円の増額で、内容は教育費の増額で、田原本小学校10-1・2・3棟外壁等改修等工事について、新たに改修する箇所が生じたことから、児童の安全を確保するため、工事請負費を増額するもの。

○田原本小学校10-1・2・3棟外壁等改修等工事変更契約締結について(全員賛成)

一般会計補正予算(第6号)の採択を受け田原本小学校10-1・2・3棟外壁等改修等工事変更契約締結について、契約金額5172万2000円で、ヒロタ建設株式会社(檀原市)と工事変更契約を締結するもの。

《適任とした人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

小走 善秀 議長

町民の皆様方には「新しい生活様式」を取り入れながら、新型コロナウイルス感染症対策に日々努めていただいていることと思いますが、本県でも連日感染者がでており、予断を許さない状況です。今期定例会では、3月定例会から実施しておりますマスクの着用や手指消毒の徹底、議場の換気などの感染防止対策に加え、会議前の検温も実施し、十分な審議が行えるよう努めました。

さて、9月定例会では令和元年度決算を含む15件の案件を慎重に審議し、議決するとともに、8名の議員が一般質問により町政を質しました。

山田 英一 議員

9月議会において、新型コロナウイルス感染症対策として総事業費約2億7300万円規模の一般会計補正予算が可決された。主な事業は「社会的な環境整備」、「新たな暮らしの

氏名 沢田貴子氏

任期 令和3年1月1日から

令和5年12月31日

委員会審査の状況(質疑等から抜粋)



《総務文教委員会》

質問 令和2年度田原本町一般会計補正予算(第5号)について、コンピュータソフト類購入で、RPAを導入することでオンライン申請が基本となると思うが、オンライン申請できない人たちに対して窓口対応はしてもらえるのか。

回答 今回の補正予算に計上しているマイナンバーカードを利用した記帳台システムでの対応となる。本システムでは、マイナンバーカードを差し込むだけで、個人4情報を申請書に印刷されるので、それをそのまま窓口へ提出していただくこととなる。

質問 財産の取得について、ワンタッチ式パーテーションを取得することであるが、どのような物を購入するのか。

回答 縦横の大きさが2・1メートル×2・1メートルで、避難所での飛沫感染を防止するため、高さ1・8メートルと背の高いパーテーションを500基購入するもの。

質問 財産の取得について、GIGA

スクール構想に伴うタブレットの取得とのことであるが、1台当たりの費用や今後のスケジュールは。

回答 県の共同調達を利用して、本体が4万4990円、設定費9999円で、12月中に納入される予定である。学校高速LANの整備を12月中に完了させ、3学期から活用できればと考えている。

《厚生建設委員会》

質問 令和2年度田原本町一般会計補正予算(第5号)について、高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担無償化で、病院で健康保険証を示すことで、住民である確認をし、自己負担額を立て替え払いしなくてよいのか。

回答 町内の開業医には事前に問診票を配付し、保険証などで住所を確認のうえ問診票を使うこととなり、おり、無料で受けることができる。また、町外の医療機関で受ける場合は対象者が事前に保健センターで申請し、予防接種を受ける医療機関へ問診票を持って行くことで、無料で受けることができる。

質問 令和2年度田原本町一般会計補正予算(第5号)について、地域振興券発行事業で、地域振興券の住民への配布方法と券の使用方法を具体的に説明をお願いします。

り、個々の事務事業について必要性を判断する施策決定はどのようなプロセスで、どのように行っていくのか施策決定のあり方はどうあるべきか、また今後厳しい財政状況の中で、事業の選択と集中が必要になってくるのではないかと考えます。具体的には、新事業を進めるにあたって既存の町民サービスの縮小や廃止、統合が出てくることも想定されているのか、想定されているのなら町民へはどのように理解を求められるのかについて一般質問をさせていただきます。

森井 基啓 議員

厚生建設委員会において、補正予算案の中の、65歳以上の高齢者に対するインフルエンザ予防接種に対する自己負担金を補助する予算案に関連して、コロナ禍での二重罹患の心配も喧伝されており、接種希望者の増加も見込まれることから、町の見込数の妥当性の確認と共にワクチンが不足することのないよう十分に確保を図ることを提起しました。また、その他として、防災の観点からも「水利組合」について町として各水利組合長の確認をし、自治会長経由でなく直接にゲート管理等について要請すべき旨を指摘しました。

安田 喜代一 議員

回答 家族分を各世帯主宛に郵送する予定。町内の協力店舗において1000円以上の支払いで、500円の割引券として使用できる券を一人5枚配布するもの。また、飲食店を対象としたスタンプラリーも予定している。

質問 令和2年度田原本町一般会計補正予算(第5号)について、ごみ分別アプリ導入事業で導入するアプリはどのようなものか。

回答 スマートフォンでQRコードを読み込みダウンロードしていただくもので、ごみ収集カレンダーの表示やアラートによるごみの出し忘れ防止などの機能がある。

《議会改革特別委員会》

「議会システム更新」の検討を行い、本議会中に「議会システム更新の要望書」を議長へ提出しました。

町議会ホームページをご覧ください

町議会ホームページでは、町議会のしくみや会議録など議会について情報発信しています。過去の議会だよりも見ることができます。



令和元年度の各会計の決算認定を行い承認しました。黒字である報告を受けましたが、前年度と比較すると、実質公債費比率は、1・1ポイント上昇し、将来負担比率は、2・8ポイント上昇しております。今後、コロナ禍の影響により税収の大幅な減少が予測され、さらに厳しい財政運営が求められます。このような情勢の中でふるさと応援寄付金による税収は増加しているということでありました。返礼品は地域の特産品を採用しており、地域経済の活性化にも繋がります。安定した財源の確保への取り組みも重要と考えます。

古立 憲昭 議員

一般質問より、①第2期田原本町子ども・子育て支援事業計画について、情報媒体及び方法を問う。特に産前・産後を含む乳幼児に対する情報や就学前児童、小中学校の保護者に対する情報の対応を問う。また保護者が最も活用しており、自治体の利用が増えているラインの活用を問う。②コロナ禍における高齢者施策を問う。特にコロナ禍で外出自粛、運動自粛が高齢者の精神や体力に及ぼす影響、また予防対策を問う。また10月スタートの「健康ポイント事業」の効果を問う。